

日本大学 文理学部



教育学科

E D U C A T I O N



「教育」それは、
未来を創造する力です。



「教育」それは、未来を創造する力です。

「ひと」が学び育っていく過程と、多様で複雑な社会の接点となるもの。

そして次代へと文化を伝え、また発展させるもの。

「教育」それは、未来を創造する力です。

education





MY RESEARCH

私の研究（卒業論文）

タイトル

今求められる日本の教育の在り方 —なぜへき地教育なのか—



2023年度卒業
安納 玲香さん

今後、少子化の進行により、地方の小規模化や、学校の存続、そして、地域の存続までもが懸念されていくでしょう。そのような中で、地域が学校を支え、学校が地域を支えるという、学校と地域の在り方が求められるようになるのではないのでしょうか。私は、近年のへき地の小規模校における特色のあるカリキュラムや取り組みに着目し、今、日本に求められる教育の在り方を検討しました。

きっかけは、「へき地教育」は、子ども不足や教員不足から引き起こる学校の統廃合や学力差、学習環境の不十分さなどが指摘されることが多く、都市部と比較した際のマイナスイメージが強い印象がある一方で、近年、地方の素材を活用した教科の応用性、発見学習、地域奉仕活動、異年齢の教育集団、課題解決学習などが重視され、へき地の教育環境を強みとし、それらを活かした取り組みが注目されていることでした。

第1章では、「へき地教育」の概念を確認するとともに、そのはじまりや取り組みなど歴史的動向について整理しました。特に現在生まれている「へき地の特性を活かす」という新たな視点を確認しました。第2章では、「へき地教育」に関連する先行研究を「へき地教育の捉え方に関する研究」「へき地で教育を行う教員の育成に関する研究」「具体的な実践に関する研究」に分類し検討することで、へき地の地域素材を生かした実践例の研究は少ないということを明らかにしました。そこで、第3章では、多くの小規模校を抱える北海道と鹿児島県の義務教育段階の学校を対象に「地域素材を生かした取り組み」を調査しました。第4章では、調査結果を踏まえ、へき地の小規模校における「地域素材を生かした探究的な学び」を取り上げ、その全体像を明らかにするとともに、教員の指導の在り方について検討し、終章では、今求められる日本の教育の在り方を示しました。

在校生から受験生のみなさんへ

「教育」に関心をもっているみなさんへ、教育学科で学ぶ在校生からのメッセージ。

一人ひとりが様々な夢をもって日々キャンパスで学んでいます。

そんな在校生たちをすこしだけ紹介します。

国語

●在校生Rさんからのメッセージ

Message

教育学科では、さまざまな教科の教員免許を取得することができます。多くの学生が教職を志しているため、同じ夢に向かって共に学び、共に考えることで、深い学びを実現させることができます。答えの決まらない、多岐に渡る分野から教育について考える授業はとても魅力的です。教育学科は、貴重な大学4年間で意味あるものとし、自分の世界を広げることができます。できる場所です。

Time schedule

		MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期	学校経営と 学校図書館	日本語学入門1	教育経営論	中世文学講義	教育学 ゼミナール3	
	後期	学校図書館	日本語学入門2	教育行政論	日本語音声学	教育学 ゼミナール4	
2	前期		国語科教育法I	現代文学講義	書道		情報メディアの 活用
	後期			現代文学史		漢文学1	国語科教育法II
3	前期		英語7	書法2	読書と豊かな人 間性		
	後期	教育課程論	英語8	教育と社会変動		教育心理学	
4	前期	日本語文法論	日本教育史	英語5	文章表現法		
	後期	近代文学史	教育の文化史	英語6			
5	前期	道徳教育の 理論と方法					
	後期	中古文学講義	特別支援 教育概論	生徒指導論・ 進路指導論			

英語

●在校生Sさんからのメッセージ

Message

私は中学・高校の英語科の教員免許取得を目指しています。教育学科の授業では、教育を様々な視点から学ぶことができ、これまでとは違った新たな教育観を見つけることができます。また、文理学部は教職サポートも充実しているため、教員採用(者)数が全国トップクラスという点も魅力の一つです。

Time schedule

		MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期		ジェンダーと 教育	教育経営論			
	後期	教育とメディア					
2	前期		教育プログラム 開発論		教育学 ゼミナール5		Advanced Communication1
	後期		高等教育論		教育学 ゼミナール6		Advanced Communication2
3	前期	道徳教育の 理論と方法					
	後期						
4	前期	教育の社会学		異文化間コミュニ ケーション概論1			
	後期	教育とデータ	英語科教育法IV	異文化間コミュニ ケーション概論2			
5	前期						英語科教育法III
	後期			生徒指導論・ 進路指導論			

数学

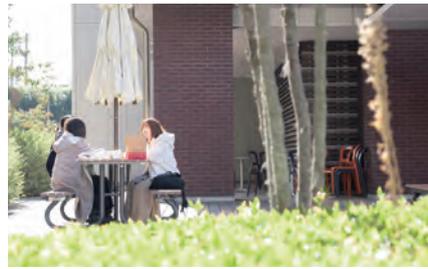
●在校生Yさんからのメッセージ

Message

現在、中学と高校の数学の教員免許を目指しています。教育学科の友人とゼミやサークルなどで授業のことを話したり、近くの小学校などでボランティア活動もしています。また数学科の学生とも学科を超えて、専門的なことについて学修できるのも楽しみです。

Time schedule

		MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期	英語1	外国教育史	中国語3	特別支援 教育総論	自主創造の基礎	線形代数1 (含演習)
	後期	英語2		中国語4	教育の理念と 歴史		
2	前期				現代教職論		心の健康
	後期		教授学習論			ジェンダー論	
3	前期	教育学 ゼミナール	英語3	情報リテラシー			
	後期	教育学 ゼミナール	英語4	身体表現論			
4	前期	微分積分学1 (含演習)		微分積分学1 (含演習)	線形代数1 (含演習)	中国語1	
	後期				コンピュータ 基礎	中国語2	
5	前期	健康・スポーツ 教育論	憲法	特別ニーズ教育の 原理と歴史		健康・スポーツ 教育実習1	
	後期	健康・スポーツ 教育実習1	キャリア・ ストレスマネジメント	発達障害教育論			



社会・地歴公民

● 在校生Kさんからのメッセージ

Message

私は今中学・高校の社会の教員免許の取得のために勉強しています。3年生になったら小学校の教員の免許の取得も目指したいです。

同じ夢を志す素敵な友達と出会うことができるので、難しい授業や課題も友達と助け合えばなんだって乗り越えることができます。教職サポートも充実しているため、教員になりたい人にとってはぴったりの学部・学科です。

Time schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期		教育経営論	東洋史特講7	人文地理学概論	
	後期		教育行政論	東洋史特講8		
2	前期	政治学概論	宗教学概論	考古学特講5	教育学ゼミナール3	地理学概論
	後期	教育課程論		考古学特講6	教育学ゼミナール4	西洋史特講4
3	前期	考古学特講7	英語7	地域教育論		自然地理学概論
	後期	考古学特講8	英語8	教育と社会変動		教育心理学
4	前期	道徳教育の理論と方法	日本教育史	英語5		社会科・公民科教育法I
	後期	西洋史特講6	教育の文化史	英語6		社会科・公民科教育法II
5	前期	西洋史特講1				社会科・地理歴史科教育法I
	後期	教育法規論		生徒指導・進路指導論		社会科・地理歴史科教育法II

保健体育

● 在校生Tさんからのメッセージ

Message

私は、中学・高校の保健体育科の教員免許取得を目指しています。教育学科では、教育に関する知識を幅広く身に付けることができます。また、同じ志を持った仲間と目標に向かって共に学んでいくことができることが一番の特徴であると思います。学生を取り巻く環境もとてもよく、魅力の一つです。

Time schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期					
	後期					
2	前期		キャリアデザイン		保健体育科教育法IV	教育学ゼミナール5
	後期		スポーツ方法論サッカー		保健体育科教育法IV	教育学ゼミナール6
3	前期	体育・スポーツ制度	柔道	安全教育		
	後期					
4	前期	教育の社会学	教育相談			
	後期	教育とデータ		特別活動・総合的な学習の時間の指導法		
5	前期	教職特別講義				
	後期	教育法規論		公衆衛生学		

特別支援

● 在校生Nさんからのメッセージ

Message

中学社会、高校の地歴公民、特別支援の教員免許を目指しています。自身の学校体験を学問的に振り返ったりすることができ、特に特別支援についての考え方が変わりました。来年度から実習があり、ちょっと履修する科目数が多いのですが、友達と一緒にラーコモとかで復習したりして互いに頑張ろうと励ましています！

Time schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	前期	英語1	外国教育史	東洋史概説	特別支援教育総論	自主創造の基礎
	後期	英語2	音楽文化論	東洋史講究	教育の理念と歴史	
2	前期		アジアの歴史・社会・文化		現代教職論	考古学研究法入門
	後期		教授学習論		現代社会を支える科学技術	ジェンダー論
3	前期	教育学ゼミナール1	英語3	情報リテラシー		
	後期	教育学ゼミナール2	英語4	身体表現論		
4	前期		社会学概論		日本史概説	中国語1
	後期					中国語2
5	前期	健康・スポーツ教育論		特別ニーズ教育の原理と歴史		
	後期			発達障害教育論		

カリキュラム

教育学科では、多様なカリキュラムから個人のニーズに合った授業を自由に選択し、教育について原理的かつ総合的に学習します。それによって、教職はもちろん多様な分野において活躍しうる人財の育成を目指しています。

研究手法に関する分野	学問の扉 教育学研究法1・大学院 教育学研究法2・大学院	生涯学習に関する分野	生涯学習論 社会教育論 地域教育論 青少年教育論 社会教育経営論1 社会教育経営論2 野外教育論
ゼミナール	教育学ゼミナール1 教育学ゼミナール2 教育学ゼミナール3 教育学ゼミナール4 教育学ゼミナール5 教育学ゼミナール6	教育と国際理解に関する分野	比較教育論 国際理解教育論 アジアの教育思想 アジアの教育制度 ヨーロッパの教育思想 ヨーロッパの教育制度 アメリカの教育思想 アメリカの教育制度 国際特別ニーズ教育論
卒業特殊課題	卒業論文 卒業研究	教育と現代社会に関する分野	教育とメディア 授業開発論 教育と環境 教育と開発 教育とグローバル社会 ジェンダーと教育 データと教育
教育の中核となる分野	教育の理念と歴史 日本教育史 外国教育史 教育の文化史 教育と社会変動 教育の社会学 教育思想論 教育課程論 教育制度論 教育行政論 教育経営論 教育法規論 特別支援教育総論 特別ニーズ教育の原理と歴史	新しい教育に関する分野	教育学特殊講義1 教育学特殊講義2 教育学特殊講義3 教育学特殊講義4
学校教育に関する分野	教授学習論 現代教職論 道德教育の理論と方法 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 中等教育論 高等教育論 生徒指導・進路指導論	特別支援教育に関する分野	知的障害教育論 肢体不自由教育論 病弱教育論 特別支援教育課程論 特別支援教育演習 視覚障害教育総論 聴覚障害教育総論 教育実習（特支）事前・事後指導 教育実習（特別支援学校）
人間形成と発達に関する分野	教育人間学 教育と多様性 発達と認知 教育相談 発達障害教育論	教育と心に関する分野	教育心理学 知的障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 発達障害者の心理・生理・病理

※一部の科目については開講しない場合があります。



取得可能な免許・資格

教員免許

●中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」

※他学科の授業を聴講して必要な単位を取得することで、地理歴史、国語、書道、外国語（英語・ドイツ語・中国語）、理科、数学、保健体育、宗教、情報の各教科の免許状も取得することができます。

※小学校教諭二種：玉川大学通信教育部の「小学校教員養成特別プログラム」を受講することで取得することができます。ただし、受講には別に定める条件を満たす必要があります。

●特別支援学校教諭第一種免許状（知・肢・病）

司書教諭

司書

学芸員

社会教育主事

社会教育士(称号)

魅力的な授業

人間が文化的生活を送り、社会を形成していく上で重要な役割を果たす「教育」。教育に関する幅広い視野、そして問題関心をもつ多彩な教育人によるカリキュラムが教育学科の特徴です。



日本教育史

小野 雅章 先生

1年次の必修科目の一つです。教育学の基礎的な部分を担う領域として、現代の教育の様々な問題の要因などを歴史的に紐解きながら理解を深めるような講義としています。内容としては、義務教育、教育方法・内容、教科書、学校建築・教育空間、教育病理、学校文化など扱います。単に過去のことの「お勉強」ではなく、教育の「今」を考えるためのものです。



教育の社会学

広田 照幸 先生

2年次の必修科目です。現代の教育のさまざまな問題・課題をとりあげ、社会学的な視点で整理し、わかりやすく説明しています。歴史的アプローチあり、理論的アプローチあり、国際比較の視点や実証データを丹念に読み込むアプローチもあり、知的刺激にあふれた講義です（ただし、笑えないギャグもたまに混じるらしい）。



教育学ゼミナール3・4

間篠 剛留 先生

2年次の必修科目で、ゼミナール形式で専門的な内容に取り組みます。私が担当するゼミでは、共通のテキストを設定したうえで、学生自身がグループで教育学の授業を構想し、実施しています。教職課程の「模擬授業」とは異なり、大学生に向けた本物の授業です。「決まった内容をいかにうまく伝えるか」ではなく、授業の核となる「みんなで考えるべき問いは何か」から検討し、共通テキスト以外の文献も調べ、吟味し、授業を実施します。



教育学ゼミナール5・6

河野 桃子 先生

教育学ゼミナールでは、教育学科の教員が各自の専門性を活かしたテーマを設定し、少人数での授業を展開しています。教育学ゼミナール5・6は、3年次の必修科目です。私が担当するゼミでは、教育思想に関わる文献を検討するなかで、資料収集の仕方、レジュメやスライドの作り方、レポートや論文の書き方など、大学での学びや卒業論文の執筆に必要な基本的なスキルを身につけていくことを目指します。また、グループ作業を通じて、学術的に実りある議論の仕方も体得していきます。

スタッフ紹介

教育学科には、人間の「善さ」と成長を信じる温かいまなざし、受容の雰囲気があります。また、問題を議論と分析とによって乗り越えようとする誠実さと厳しさがあります。私たちは、全国・全世界から集まった意欲の高い学生たちが切磋琢磨していく姿を、心から応援しサポートしていきます。

①…専門分野 ②…メッセージ



梶野 光信
教授

- 1 社会教育学、教育福祉論
- 2 社会教育行政、政策論を主な研究テーマとしています。30年に及ぶ教育行政職員としての経験を踏まえ、社会生活をおくる上で困難を有する子ども・若者支援するリアルな教育政策のあり方を考えています。



佐久間 邦友
准教授

- 1 教育行政学・教育政策
- 2 学習塾などと教育委員会や学校の連携を研究テーマにしています。主に公営塾など自治体主導型学習支援事業を取り上げ、フィールドワークを通じて事業の政策的背景や効果検証に取り組んでいます。



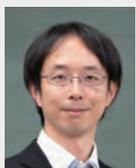
田部 絢子
准教授

- 1 特別ニーズ教育・特別支援教育
- 2 障害等の発達上の困難を有する子どもの教育・支援に関する調査を通して当事者の声・ニーズを傾聴し、それを起点にした教育・支援のあり方を研究しています。小中高校の巡回相談や発達支援機関等における発達相談臨床の視点からも検討しています。



西牧 謙吾
教授

- 1 特別支援教育
- 2 いわゆる発達障害支援の実践(医療)を通じて、現代社会に求められる医療、福祉、教育の課題を、進化、文化、制度の観点から、社会学的視点から研究しています。



間篠 剛留
教授

- 1 高等教育論
- 2 アメリカ高等教育の歴史や思想を研究しています。自分たちが経験している高等教育や大学を外側から見つめることで、知らず知らずのうちに前提としている考え方の枠組みを問い直し、そこから自由になれるかもしれません。



村松 龍一
職員

- 2 2024年に教育学科を卒業しました。学生生活を過ごす中で生じる疑問や不安など、1人で抱え込まずに相談に来てください。共に考え、問題を解消していきます。充実した学生生活のサポートができるよう、教育学科事務室にてお待ちしております。



大場 博幸
教授

- 1 図書館情報学
- 2 「図書館はどのような性質の資料を所蔵しているのか」「なぜ図書館に公費を投入するのか」「図書館への投資はペイしているのか」「読書は何に対してどの程度の効果を持つのか」などについて研究しています。



河野 桃子
准教授

- 1 教育哲学・教育思想史
- 2 R.シュタイナーの思想研究を通して、教育をホリスティック(全連関的)に捉え直すことを試んでいます。地道な文献研究の一方で、ケアやアート、スピリチュアリティ等、様々な切り口から自由に教育を考える柔軟さも大切にしたいと思っています。



末富 芳
教授

- 1 教育行政学、教育財政学
- 2 教育行政、教育財政を主なテーマにしています。学力向上と教育投資、高校無償化、子どもの貧困、学習支援、大学奨学金など、現代社会における教育政策の在り方について実証的に研究しています。



田中 謙
教授

- 1 幼児教育学、児童福祉
- 2 就学前の子どもの生活について、特別なニーズのある子どもを主対象に研究しています。子どもたちのキャリアの基礎を培う就学前期を豊かにするための社会システムのあり方を考えています。



日暮 トモ子
教授

- 1 教育思想史・比較教育学
- 2 海外、とくに東アジアの教育の歴史・思想、制度・政策について研究しています。海外の教育を知ることで、日本の教育を相対的に捉え、そのあり方を問うきっかけになるかもしれません。海外の教育に視野を広げましょう。



望月 由起
教授

- 1 教育臨床社会学、キャリア形成論
- 2 社会・学校・家庭の要請に応じた調査分析を行い、実践的な方策の提示や、事象理解の問い直しを試んでいます。主なテーマは「青年期のキャリア形成と教育支援」「女性のライフキャリア」「ペアレントクラシー」です。



小林 円香
職員

- 2 2008年に、教育学科を卒業しました。少しでも困ったこと、相談がある場合は教育学科事務室でお待ちしています。一緒に問題解決していきます。充実した学生生活が送れるようにサポートいたします。



小野 雅章
特任教授

- 1 教育史
- 2 日本の教育を歴史的側面から研究しています。授業では、「日本教育史」などを担当しています。全国の図書館・公文書館めぐりが「趣味」です。



北野 秋男
特任教授

- 1 アメリカの教育
- 2 現代の日本とアメリカにおける教育改革の動向を理念的、制度的に研究しています。とりわけ、現代の日本の学力テスト、学力問題についても調査し、比較研究を行っています。



杉森 知也
教授

- 1 教師教育論、教員養成史
- 2 教師教育の課題と展望について、教育史の観点から研究しています。戦前・戦後における中等教員養成システムの連続・非連続性に着目しながら、現在の大学における教員養成カリキュラムの課題を考えています。



中橋 雄
教授

- 1 教育方法学、教育工学、メディア・リテラシー論
- 2 「メディアを活用して学ぶ教育方法(教育におけるICTの活用)」と「メディアについて学ぶ教育方法(メディア・リテラシーの育成)」に関する研究をしています。初等・中等教育の実践者と共同で実践研究に取り組んでいます。



広田 照幸
特任教授

- 1 教育社会学
- 2 近現代の教育を広く社会科学的な視点から考察しています。世にあふれる教育論は、ゆがんだ現状認識や偏った価値評価に基づいたものがとても多い。冷静な社会科学的見方から教育の今後を考えたいと思っています。



市野 亮太
助手

- 2 学校と地域の連携・協働について研究をしています。教員の多忙化や、地域の希薄化などの問題から、このテーマに強く関心を持ちました。現在は、学校における地域学習やふるさと教育に関心があり、学校を核とした地域づくりの在り方に関して研究を行っています。



木村 千夏
職員

- 2 2025年に教育学科を卒業しました。茨城県出身で、中学校社会、高校地理歴史科・公民科の教員免許を取得しています。皆さんの学生生活がスムーズにいくように、サポートいたします。困ったこと、悩んでいること、なんでも相談しに来てください。

主な就職先・進路について

教育学科はこれまで6,000名を超える卒業生を輩出してきました。

小・中・高等学校の教員、大学教員、教育委員会など、
教育関係職への就職が多くなっています。

もちろん民間企業や官公庁に就職する卒業生もいます。

詳細はこちらへ



卒業生 Special interview



2019年度卒業
後藤 藍子さん

富士吉田市役所
出納室

— 今のお仕事について教えてください。

私は現在、地方公務員として会計業務に従事しています。市の収入と支出をとりまとめ、公金の動きを管理する仕事です。収入業務では、住民税や固定資産税といった市税、ふるさと納税制度を利用した寄附金などの入金状況の確認が主な業務内容になります。納めていただいた公金は、子育て支援や学校教育環境の整備、介護サービスや各種給付金の支払いなどに充てられます。支出業務では、そのような住民サービスの提供のために必要な伝票を審査し、銀行とやり取りをしながら支払い処理を行っています。

— 教育学科で学んだことはどんな場面で活かされていますか？

教育学科では、教育や子どもに関する問題を幅広く学ぶことができます。私は学生時代、子どもの貧困問題について特に関心を持ちました。生活が不安定な家庭の実情を学んだことで、学習支援や給付金など、行政が困窮世帯に行う支援の重要性を痛感しました。その学びは、現在も自身の仕事の意義理解に繋がっています。必要としている人に正確で迅速なサービスを届けたいという使命感を持ち、日々の業務に取り組むようになりました。

— 教師を目指している高校生に一言で

4年間の大学生活では、多彩な授業を通して知識や考え方を身に付け、自分の可能性を広げることができました。今でも学生時代の友人たちと、思い出のある授業や先生方の話になります。きっとみなさんにも充実した大学生活が待っていることと思いますので、是非、頑張ってください！



2020年度卒業
山内 莉枝さん

世田谷区立
船橋希望中学校

— 今のお仕事について教えてください。

私は現在、世田谷区立船橋希望中学校で勤務しています。初任から3年間、特別支援教室の教諭として勤務していました。4年目となる2024年度から、校内異動をし国語科として1年生の担任をしています。慌ただしい日々ですが、生徒とのかかわりは楽しく、非常に充実しています。初任の頃は特別支援教育の知識もあまりなく、右も左もわからない状態でしたが、様々な経験を通して、「一人ひとりの特性を理解し、なるべく少ない支援で課題を解決する」ことの大切さを学びました。今後は、この経験を活かし、様々な視点をもって生徒とかわっていきたいです。

— 教育学科で学んだことはどんな場面で活かされていますか？

生徒指導の多くの場面で活かされていると思います。教育学科では理論に関する授業を多く受け、「教育とは何か？」などといった教育について様々な見方を通して考えました。その中で、傾聴することの大切さに気づくことができました。教師になってからも、常に生徒や保護者の話を傾聴することを心がけています。また、教育について広く深く教えてくださった先生方や、熱く語り合える仲間と出会えたことは大きな財産となりました。教育学科で学んだことを、次世代に恩送りしていきたいです。

— 教師を目指している高校生に一言で

私は中学3年生の頃から教師を目指していました。教育学科に進学してから、教師という仕事の現状を知ったときや、教員採用試験に向けた勉強に取り組んでいるとき、何度も「本当に自分が教師になれるのか」と悩みました。しかし今では、進路に向けて沢山悩み、考えたことが糧になっていると感じます。人生において無駄な経験は一つもないと思います。失敗を恐れず、自分がやってみたいと思うことにどんどん挑戦していきましょう。

大学院について

文学研究科教育学専攻は、人文系・社会系の他の専攻と同様に、博士前期課程（修業年限2年、単位を取得し提出論文が合格すれば「修士（教育学）」の学位が授与される）、博士後期課程（修業年限3年、提出論文が合格すれば「博士（教育学）」の学位が授与される）から構成されています。

高度な学術知識を備えた専門的人材および優れた研究能力ある研究者の育成を目的として、数多くの人材を教育学分野の学界に送り出しています。教育学の学界において日本大学大学院教育学専攻の名はよく知られており、日本教育学会、教育史学会、日本教育経営学会、日本教育行政学会、日本比較教育学会など、全国規模の学会大会の会場提供を委嘱されることが少なくありません。

教育学研究者ばかりでなく、高等学校の専修教員免許状取得の途も開かれていて、高い専門性と資格とをもつ、優れた教員を教育界に供給しています。

カリキュラム

教育哲学特論 1・2

日本教育史特論 1～4

外国教育史特論 1～4

教育社会学特論 1・2

教育行政学特論 1・2

社会教育学特論 1・2

教育方法学特論 1～4

比較教育学特論 1・2

学校論研究 1・2

教育内容特論 1・2

学術情報論研究 1・2

教育哲学研究 1・2

外国教育史研究 1・2

教育社会学研究 1・2

教育行政学研究 1・2

社会教育学研究 1・2

比較教育学研究 1・2

教育内容論研究 1・2

教育学研究法 1・2

特定課題研究 1・2

教育学特論 1～4

教育学特殊研究 1～6

教育学応用演習 1～4



日本大学教育学会

日本大学教育学会は、教員・大学院生・学部生やそのOB・OGが中心となって研究を行っており、春・秋に学術研究発表会を開催しています。学術活動の他にも、教育学科と卒業生をつなぐ同窓会の開催、教育学科公認サークルへの研究補助、充実した学生生活が送れるようなさまざまな支援活動などを展開しています。また、『会報』を春と秋の年2回、紀要『教育学雑誌』を年1回発行しています。



入試情報

総合型選抜	募集人数	3名		
	試験日	[第1次] 9月25日(木) [第2次] 10月11日(土)		
	合格発表	11月4日(火)		
一般入試(C方式)	募集人数	7名		
	試験日	1月17日(土)・18日(日) [大学入試共通テスト]		
	合格発表	2月13日(金)		
一般入試(N方式)	第1期		第2期	
	募集人数	3名	募集人数	3名
	試験日	2月1日(日)	試験日	3月4日(水)
	合格発表	2月13日(金)	合格発表	3月13日(金)
	募集人数	47名		
	試験日	2月3日(火)		
一般入試(A方式)	合格発表	2月13日(金)		

※詳細は文理学部の「入試要項」をご覧ください。

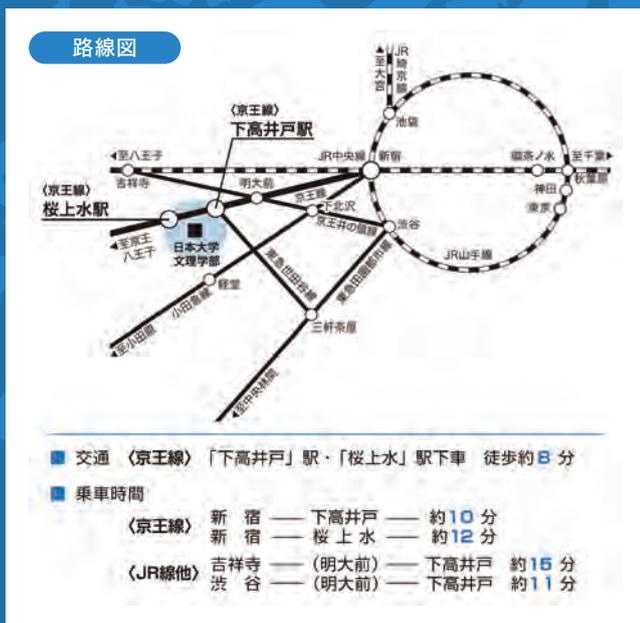


学科はこちらへ



大学院はこちらへ

ACCESS MAP



日本大学 | 文学部 | 教育学科

●日本大学大学院文学研究科教育学専攻(教育学コース)

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

TEL 03-5317-9714 (学科事務室直通)

FAX 03-5317-9425 (学科事務室直通)

E-mail chs.education@nihon-u.ac.jp

HP <https://dept.chs.nihon-u.ac.jp/education/>

[メール]

[ホームページ]

